

事務事業評価

蕪崎市では、効果的で効率的な行財政運営を行うため、平成13年度から行政評価システムの構築に取り組み、その一環として平成14年度にモデル事務事業評価を実施し、平成15年度からは、全事務事業を対象に事務事業評価システムを導入しております。

評価した事務事業評価シートは公表し、皆さんからご意見やご提言をいただき、さらにシステムの充実・改善に向けて取り組んでいきたいと考えております。

事務事業評価システムとは

行政評価システムには、大きく施策の内容についての評価を行う施策評価と、個々の事務事業について評価を行う事務事業評価があります。

事務事業評価システムは、行政活動（行政サービス）などの事務事業について自ら評価し、その結果を、「予算」や「総合計画実施計画」に反映させるとともに、その活動を市民のみなさんに積極的に説明していくことなどを内容としたものです。これは、職員が市民の視点にたつて、事務事業が何の目的で誰のために行っているのかを明確にし、その成果は何か、本当に市民が望んでいるものなのかを検討評価し、公表することにより、行政の責任と信頼の向上を図り、各事務事業の現状を認識し、課題や改善方策を検討するなど、効果的で効率的な行財政運営をめざすシステムです。

事務事業評価の目的

事務事業評価は、事業を廃止したりすることが目的ではありません。その年度において、事業が計画どおり達成できたか、計画どおり成果が得られたか、効率的に執行できたかを評価し、それをもとに改善策を検討し、次年度以降の事業実施に活かすことを目的にしています。

事務事業評価シート記入の趣旨

事務事業評価シートの記入は、対象事業を評価するための基礎的な作業であり、成果を重視してコスト意識を導くための一つの手段です。評価シートを記入する過程を通じ「何をしたかではなく、どんな成果があったのか」という成果重視の視点から課題を整理し、絶えずコスト削減や事務事業の入れ

替え、見直しを的確に行い、改革・改善を図りながら次の計画へ役立てていきます。また、作成された評価シートは、市民や担当以外の職員に事業を説明するための資料となり、説明責任を明確にするためにも評価シートは、有用だと考えています。

評価の方法

評価するにあたり、事業の目的・対象・手段・成果を明確にし、事業ごとに直接経費に平均人件費を加えた総事業費でコストを計算しています。

次に、現状を評価する指標（「ものさし」）として、事業の現状をあらゆる活動・成果・効率の各指標を用いて、事業を数字で分析し、妥当性・成果・効率性の視点から、総合評価を行い、改善・改革を加えて今後の事業を展開していきます。